



# 2009年度(2010年3月期) 通期(第4四半期)決算説明会

2010年4月30日

**セイコーエプソン株式会社**

## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

---

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 本説明資料における表示方法

---

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

## 「その他の事業」セグメントに含まれる「胎内育成事業」の一部変更について

(2009年度から)

- 将来の事業化を目指していた、「その他の事業」セグメントに含まれる「胎内育成事業」の一部を、2009年3月に発表したデバイス事業の構造改革の方向性に沿って全社の基礎研究開発へと役割を変更
- それにともない、2009年度のセグメント損益の開示値を変更
- 2009年度実績の説明において、前年度を比較対象とする場合は、2008年度のセグメント損益もあわせて補正

## 「マネジメントアプローチ」にもとづく、開示セグメントの変更について

(2010年度から)

- 「マネジメントアプローチ」の考え方に基づき、2009年度まで各セグメントならびに各事業に売上高比率で配賦をしていた本社費用を2010年度からは「全社セグメント」に集約
- 「その他の事業」セグメントで計上していた、グループ向けサービスを目的とした子会社は機能を各事業に移管
- 2010年度予想の説明において、前年度を比較対象とする場合は、2009年度のセグメント損益もあわせて補正

## 1. 概要

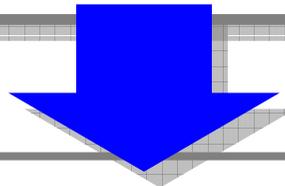
## 2. 詳細

# 決算ハイライト(通期)

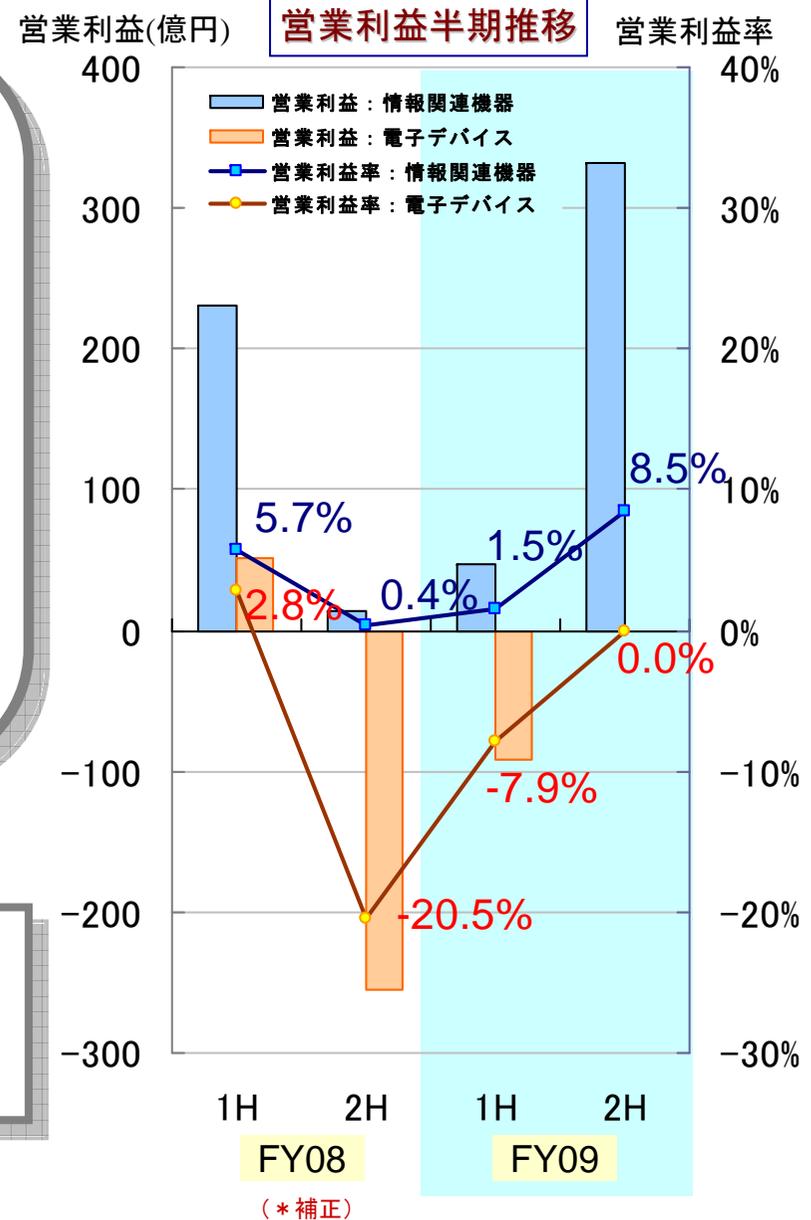
(億円)	2008年度		2009年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	前回予想	%	実績	%	前期実績比	前回予想比
売上高	11,224	-	9,900	-	9,853	-	-1,371 -12.2%	-46 -0.5%
営業利益	△15	-0.1%	200	2.0%	182	1.8%	+198 -	-17 -8.9%
経常利益	53	0.5%	130	1.3%	138	1.4%	+85 +161.7%	+8 +6.7%
税引前利益	△895	-8.0%	0	0.0%	△7	-0.1%	+887 -	-7 -
当期純利益	△1,113	-9.9%	△210	-2.1%	△197	-2.0%	+915 -	+12 -
EPS	△566.92 円		△105.41 円		△99.34 円			
換算 レート	USD	100.53 円	93.00 円		92.85 円			
	EUR	143.48 円	133.00 円		131.15 円			

# 2009年度決算のポイント

- 上期においては、景気後退の影響を受けビジネス市場向けを中心に厳しい損益状況
- 下期には、景気の回復、ならびに各種の収益改善施策への取り組みにより大幅に損益を改善
- 徹底的な固定費削減への取り組み
- 2010年度以降の収益基盤の強化に向けてインクジェットプリンターの積極的な販売拡大施策などを展開



当初の目標である  
通期経常利益ブレークイーブンを達成



## 情報関連機器セグメント

景気後退の影響を受けたビジネス向け市場は回復の途上にあるものの、コストダウンなどによる事業の高効率化を継続して推進したことにより、前期比で損益改善

- インクジェットプリンター : 競争力の高い製品の投入、成長市場であるエマージングや成長領域である商業・産業分野への取り組みを強化
- ビジネスシステム : POS関連製品、SIDMのプレゼンスの強化維持・強化
- プロジェクター : 普及価格帯でのシェアNO.1、高輝度エリアへの取り組み

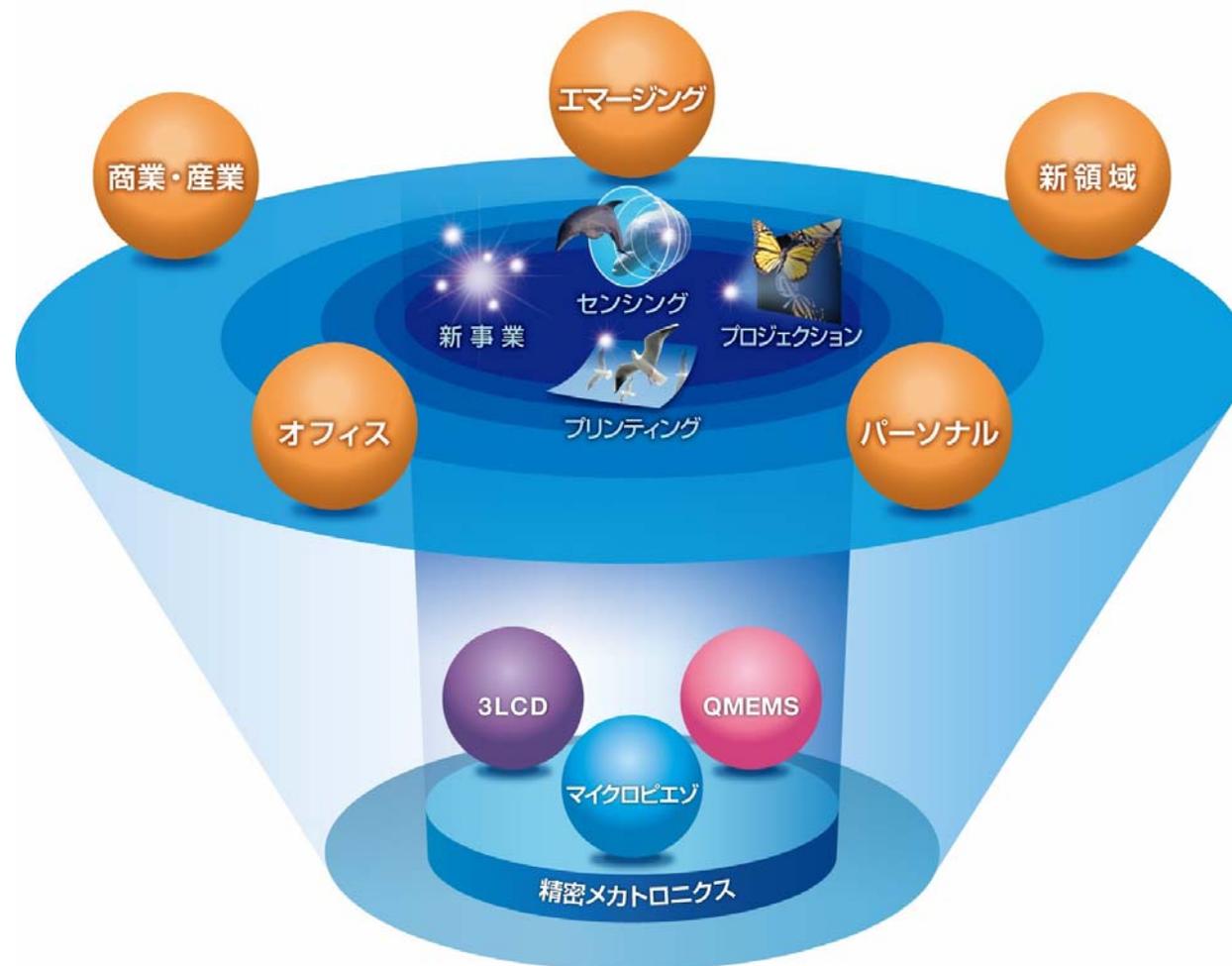
## 電子デバイスセグメント

下期からデジタル家電・携帯電話向けなどの需要回復があり、加えて前期での減損影響、固定費削減効果などにより、大幅に損失が縮小

- 水晶デバイス、半導体 : エプソントヨコムの子会社化により一層のシナジーを発揮  
センシングデバイスなど強みを発揮できる分野への取り組みを強化
- 中・小型液晶ディスプレイ : 中期経営計画の方向に則り、構造改革を推進  
予定どおりアモルファスシリコンTFT液晶ディスプレイ事業に関する事業資産の一部をソニーへ譲渡

# 長期ビジョン「SE15」

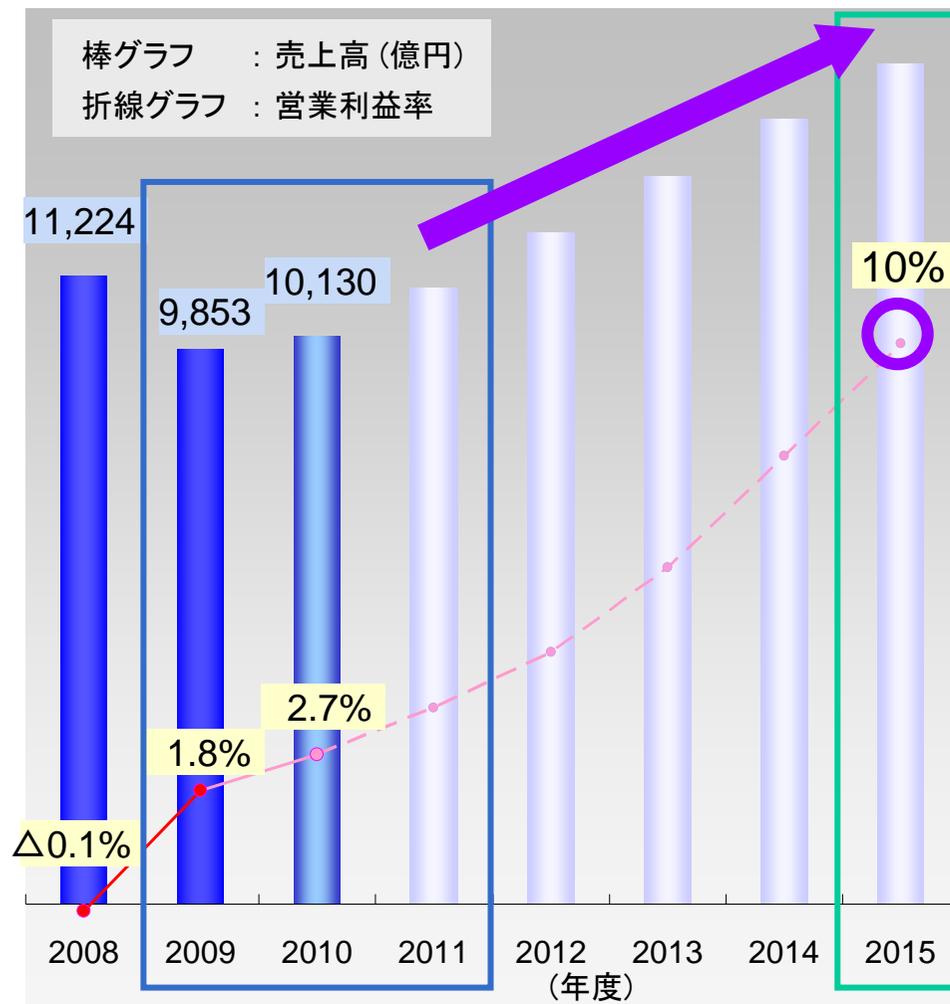
エプソンは、省・小・精の技術を究め極めて、プラットフォーム化し、強い事業の集合体となり、世界中のあらゆるお客様に感動していただける製品・サービスを創り、作り、お届けする



# 長期ビジョン「SE15」・中期経営計画(2009～2011年度)

「SE15」業績目標  
(2015年度)

ROS 10%、ROE 継続的に10%以上  
(売上高成長を前提として)



「SE15」・中期経営計画  
(2009～2011年度)

2009年度  
(経常利益)ブレークイーブンを目指し、長期ビジョンの布石となる事業基盤を再構築

2010年度  
確実に利益が確保できる  
企業体質の定着

2011年度  
長期ビジョン「SE15」実現に向けた新たな成長軌道を確立

# 2010年度業績予想 ▶ 前期同期比

(億円)	2009年度		2010年度		増減	
	通算	%	通算	%	増減額	増減率
売上高	9,853	-	10,130	-	+276	+2.8%
営業利益	182	1.8%	270	2.7%	+87	+48.1%
経常利益	138	1.4%	240	2.4%	+101	+73.0%
税引前利益	△7	-0.1%	120	1.2%	+127	-
当期純利益	△197	-2.0%	0	-	+197	-
EPS	△99.34円		0.00円			
換算 レート	USD	92.85円	85.00円			
	EUR	131.15円	125.00円			

## インクジェットプリンター事業

- ◆ ビジネス、エマージング、コンシューマーなどの、お客様セグメントに最適な商品を提供するためのラインナップの拡充

## プロジェクター事業

- ◆ No.1ポジションならでの、豊富なラインナップの提供

## 水晶・センサー事業

- ◆ 能力増強によるNo.1競争力の拡大と、半導体事業との一層のシナジー発揮

中期経営計画(2009~2011年度)の2年次として、  
「確実に利益が確保できる企業体質の定着」をめざす

- 当期純利益 ブレークイーブン以上をめざす
- 長期ビジョン「SE15」達成に向けた仕込みを着実に進める
- 事業構造改革の総仕上げ



【中期経営計画(2009~2011年度)】最終年次である2011年度に、  
【長期ビジョン「SE15」実現に向けた新たな成長軌道を確立】する

## 1. 概要

## 2. 詳細

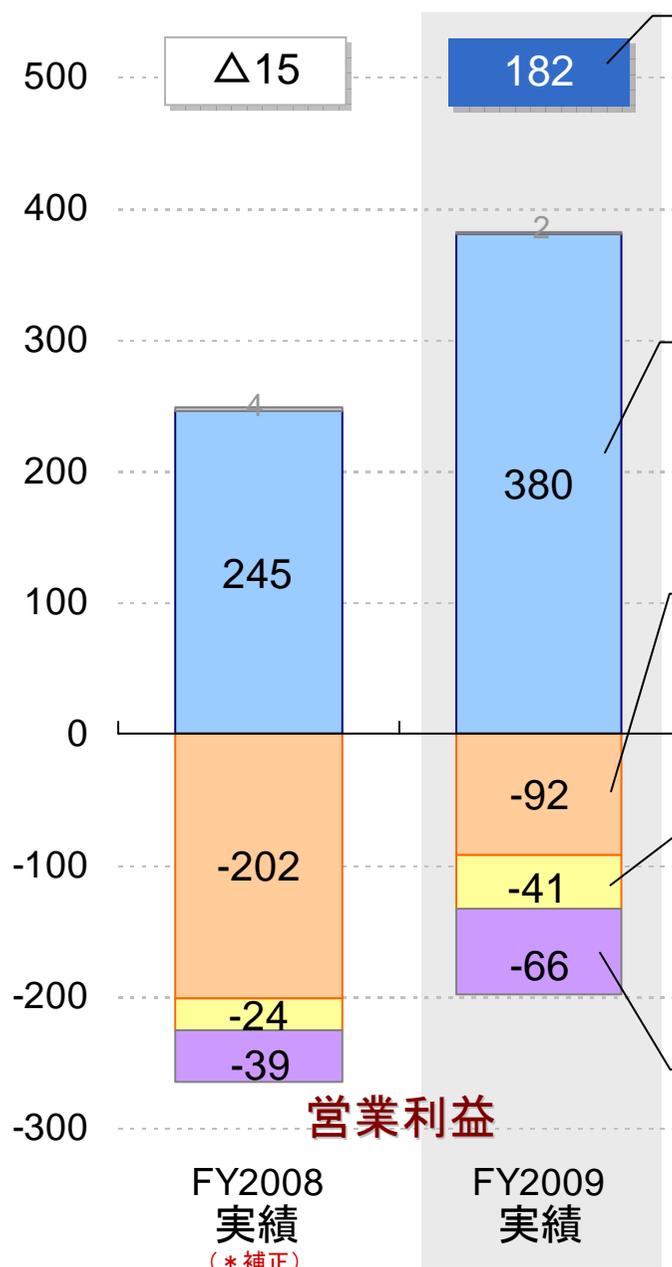
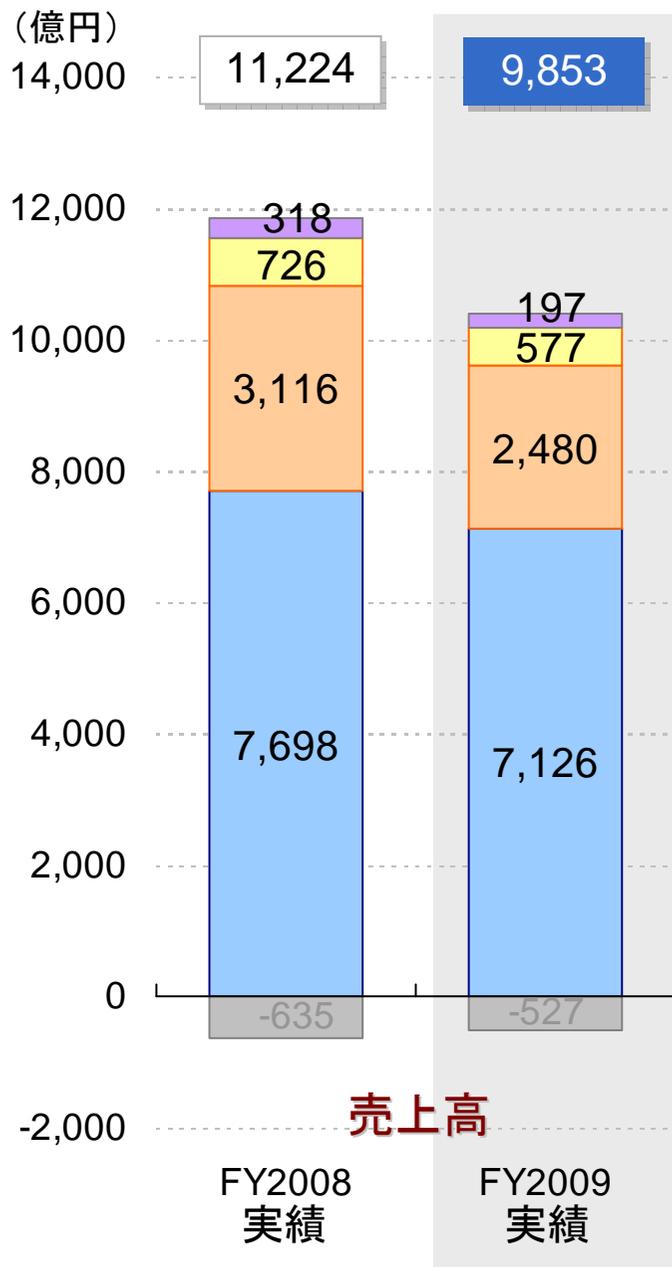
1) 2009年度 決算

2) 2010年度 業績予想

# 決算ハイライト(通期)

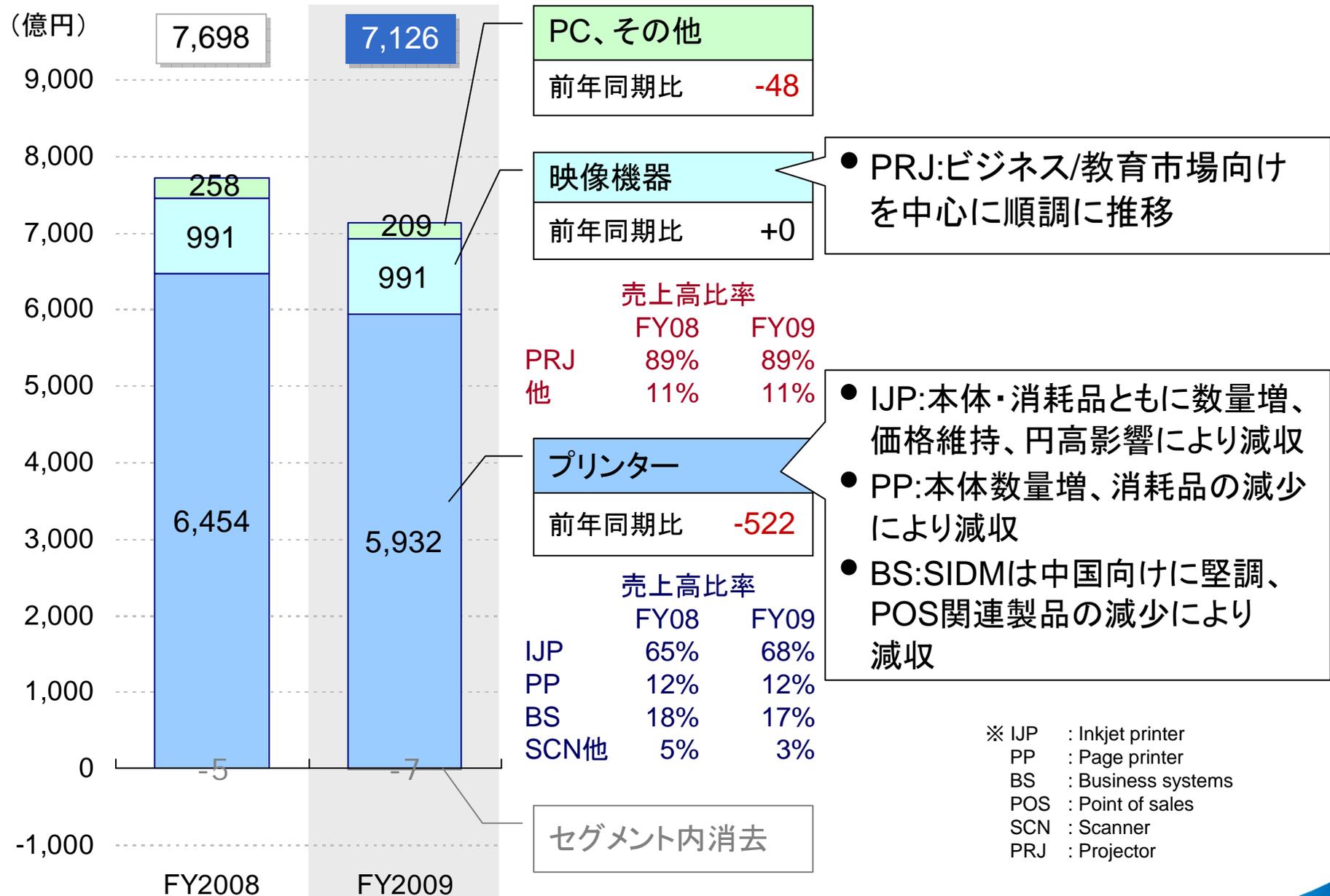
(億円)	2008年度		2009年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	前回予想	%	実績	%	前期実績比	前回予想比
売上高	11,224	-	9,900	-	9,853	-	-1,371 -12.2%	-46 -0.5%
営業利益	△15	-0.1%	200	2.0%	182	1.8%	+198 -	-17 -8.9%
経常利益	53	0.5%	130	1.3%	138	1.4%	+85 +161.7%	+8 +6.7%
税引前利益	△895	-8.0%	0	0.0%	△7	-0.1%	+887 -	-7 -
当期純利益	△1,113	-9.9%	△210	-2.1%	△197	-2.0%	+915 -	+12 -
EPS	△566.92 円		△105.41 円		△99.34 円			
換算 レート	USD	100.53 円	93.00 円		92.85 円			
	EUR	143.48 円	133.00 円		131.15 円			

# 2009年度業績▶事業セグメント別

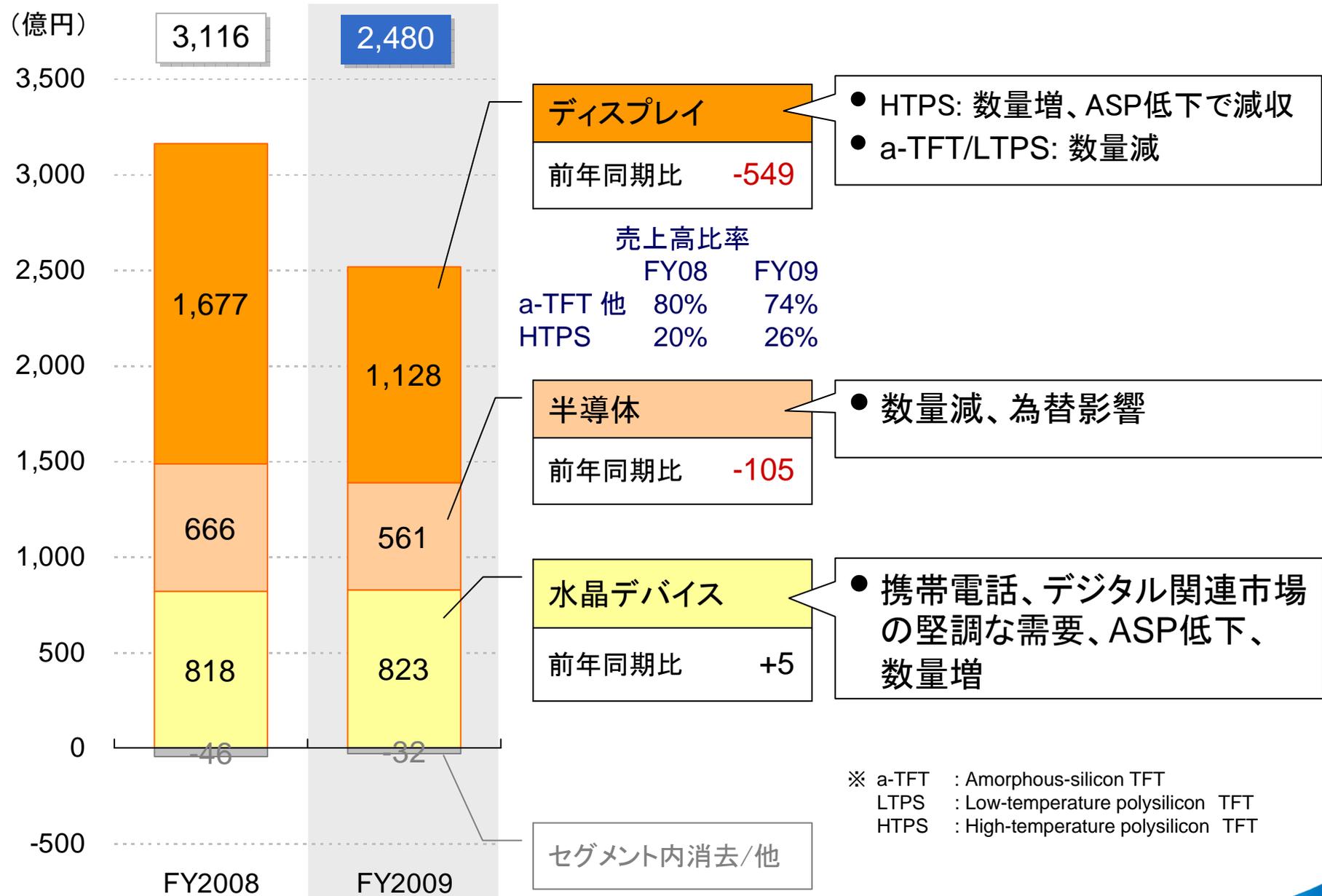


<b>連結合計</b>	
売上高	-1,371
営業利益	+198
消去又は全社	
<b>情報関連機器</b>	
売上高	-571
営業利益	+134
<b>電子デバイス</b>	
売上高	-636
営業利益	+109
<b>精密機器</b>	
売上高	-149
営業利益	-16
<b>その他</b>	
売上高	-121
営業利益	-26

# 売上高比較(通期) ▶情報関連機器セグメント

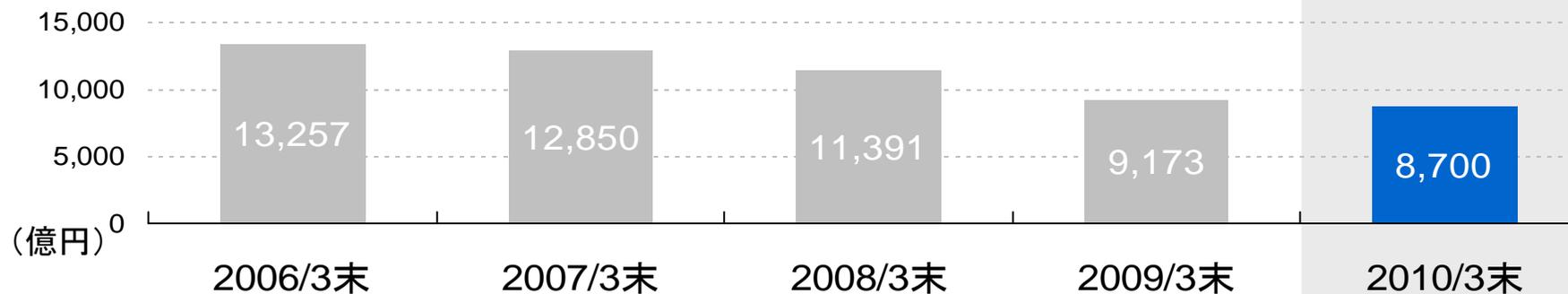


# 売上高比較(通期) ▶ 電子デバイスセグメント

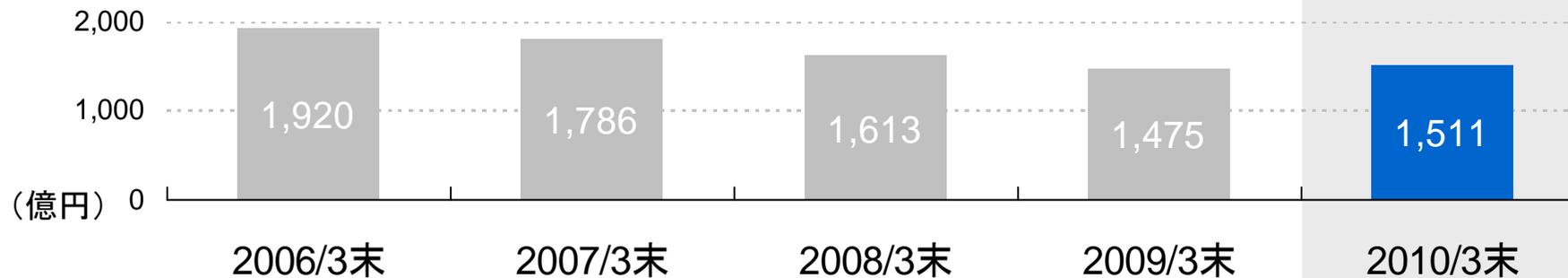


# 貸借対照表主要項目推移

## 総資産

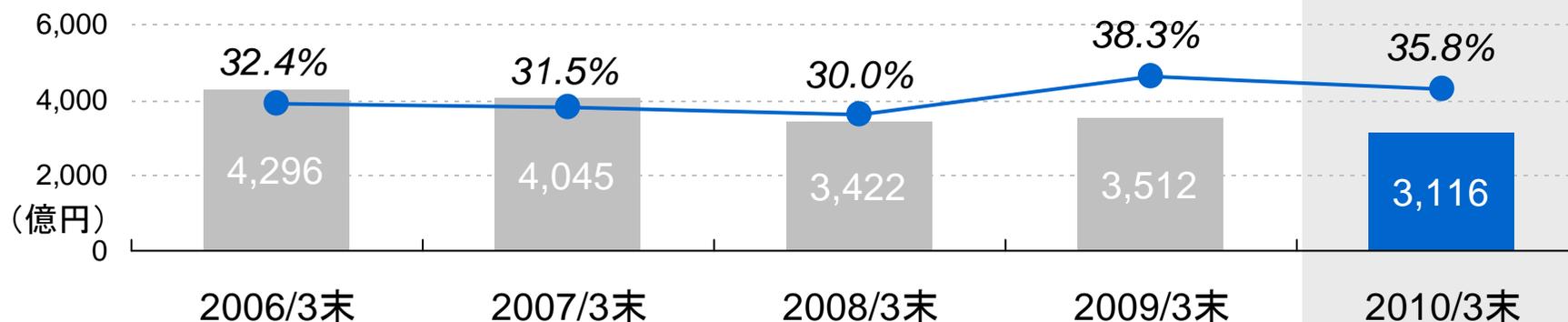


## たな卸資産

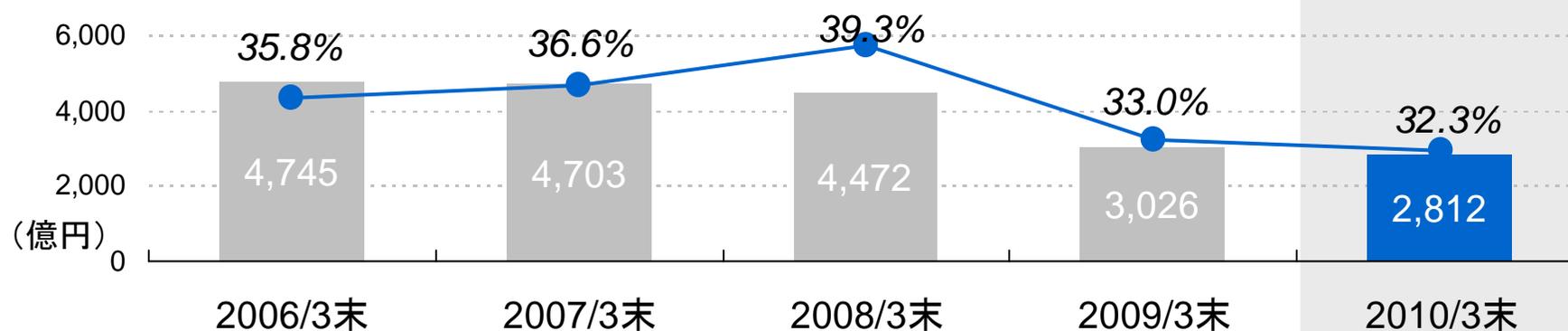


# 貸借対照表主要項目推移

## 有利子負債・有利子負債依存度



## 自己資本・自己資本比率



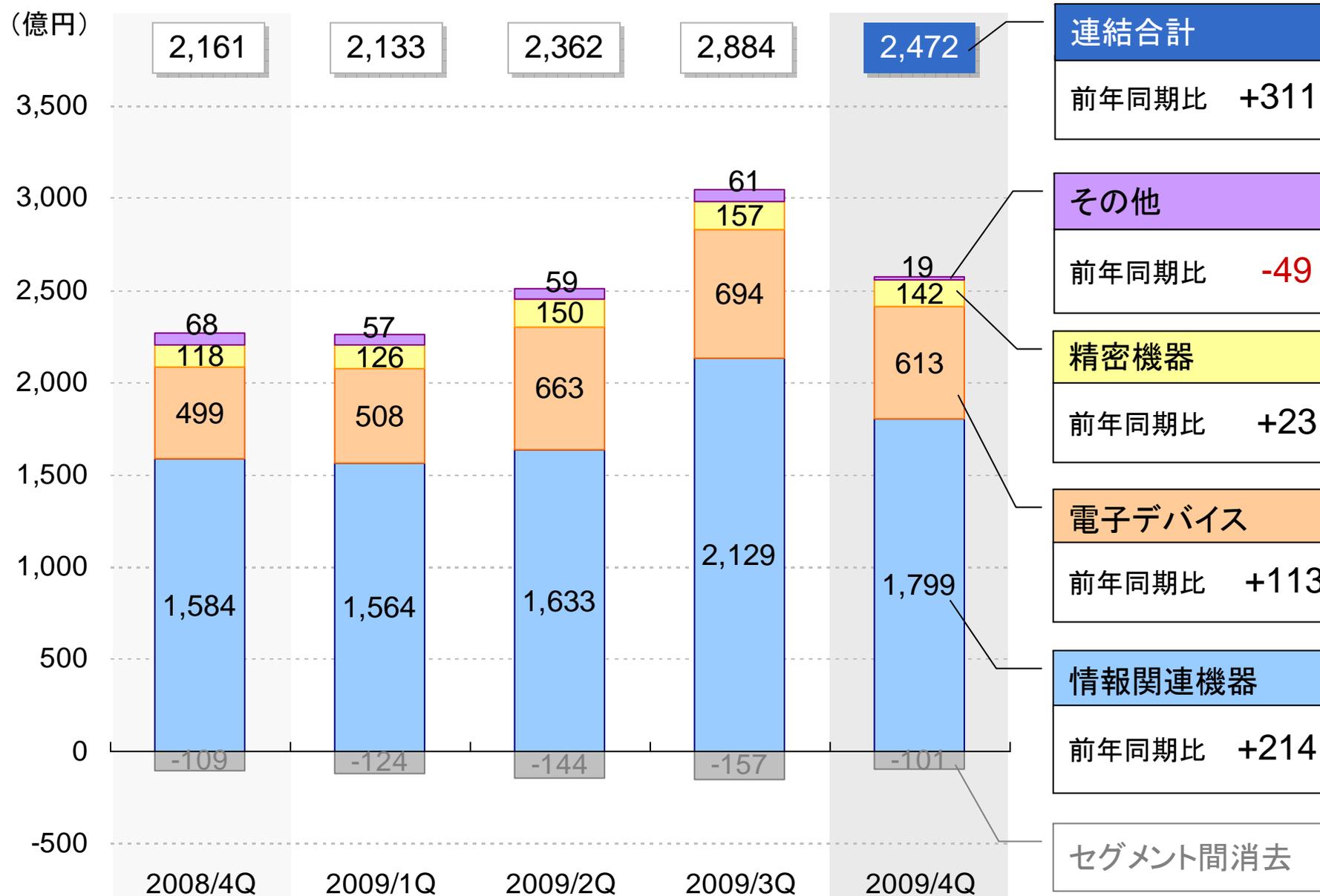
\*有利子負債=2008年度からリース負債を含む

\*自己資本=純資産合計-少数株主持分

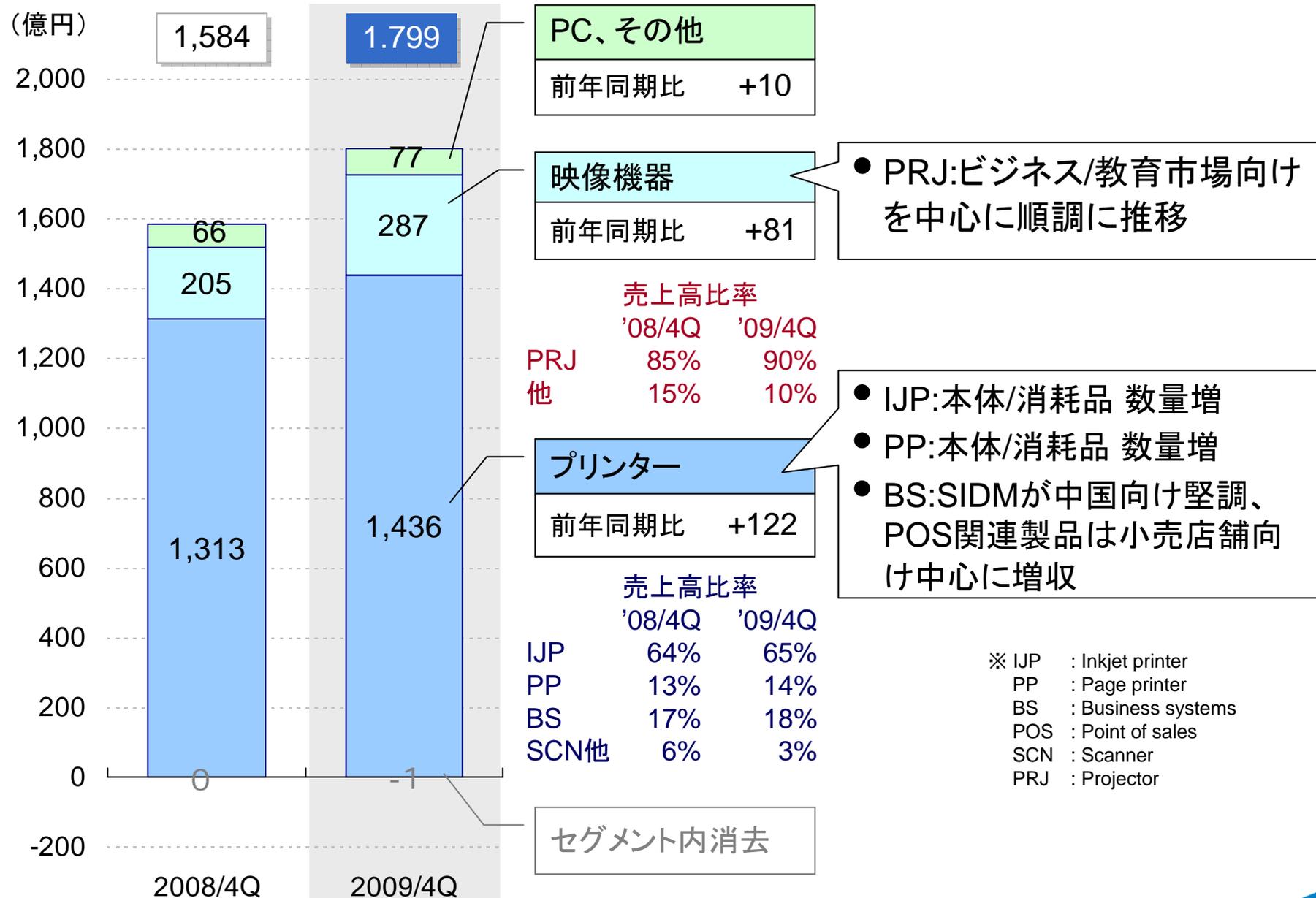
# 決算ハイライト（第4四半期決算）

(億円)	2008年度		2009年度		増減	
	4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上高	2,161	-	2,472	-	+311	+14.4%
営業利益	△342	-15.9%	△39	-1.6%	+303	-
経常利益	△322	-14.9%	△25	-1.0%	+296	-
税引前利益	△1,093	-50.6%	△82	-3.4%	+1,010	-
四半期純利益	△1,232	-57.0%	△150	-6.1%	+1,081	-
EPS	△627.47円		△75.33円			
換算 レート	USD	93.61円	90.70円			
	EUR	121.81円	125.62円			

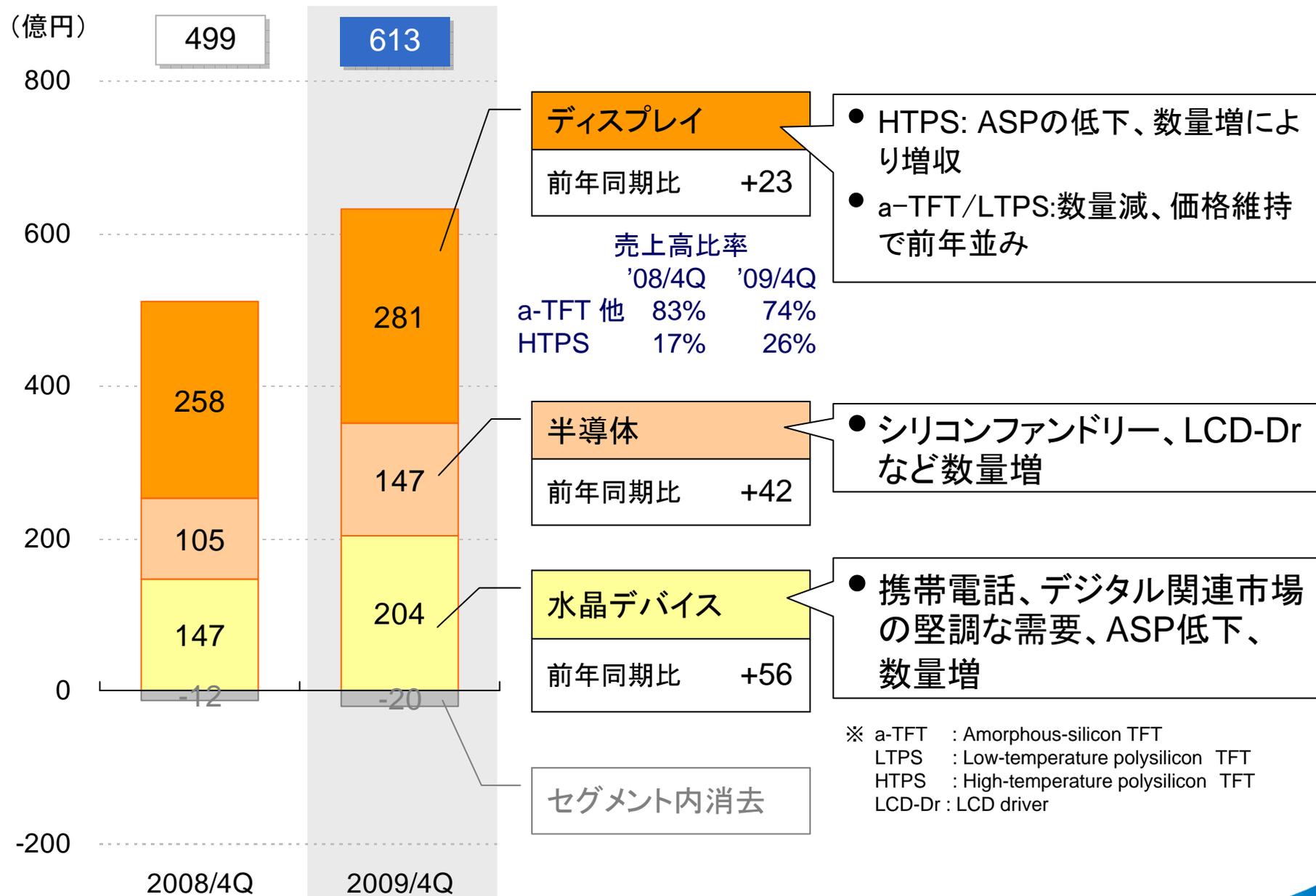
# 四半期売上高推移 ▶ 事業セグメント別



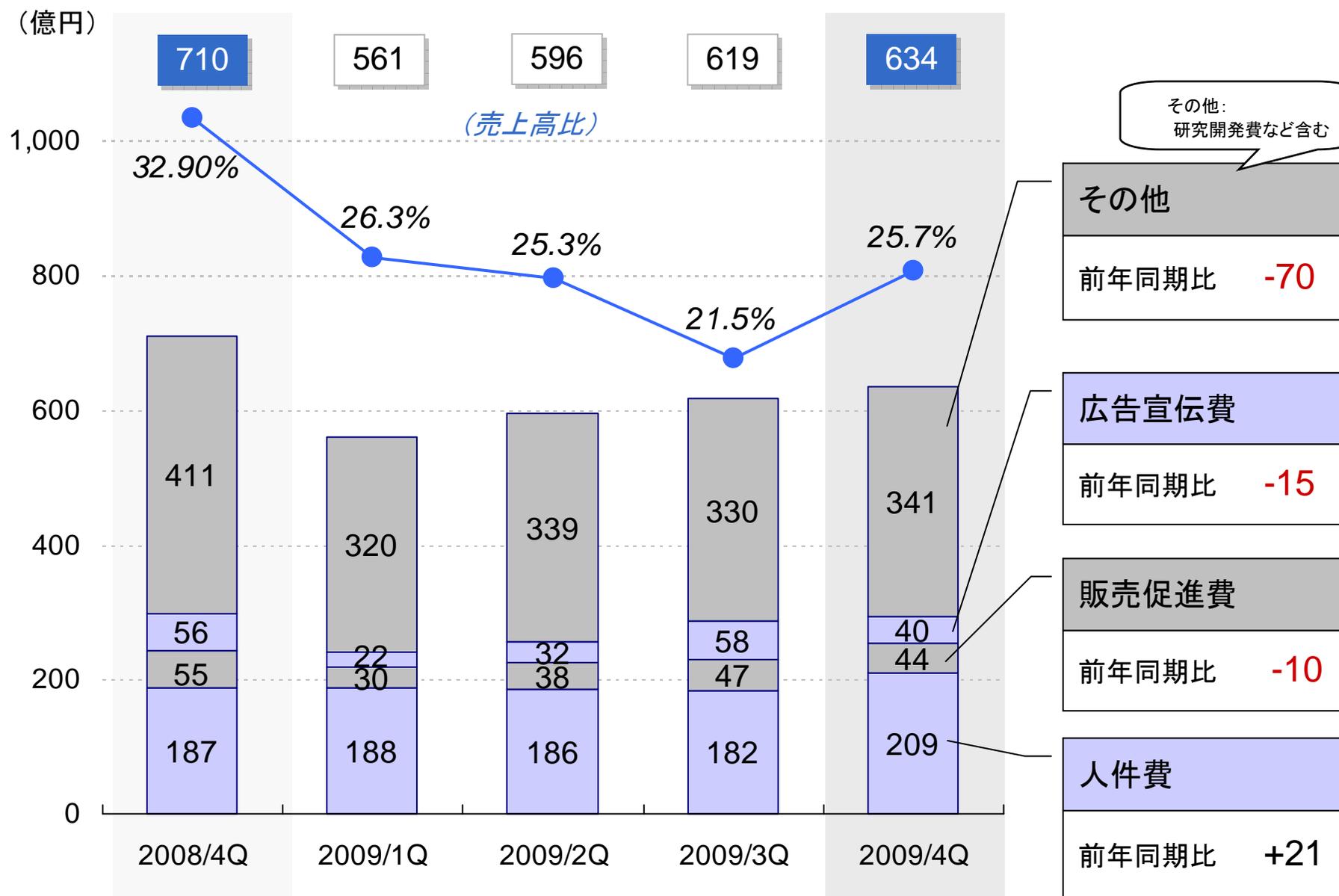
# 四半期売上高比較 ▶ 情報関連機器セグメント



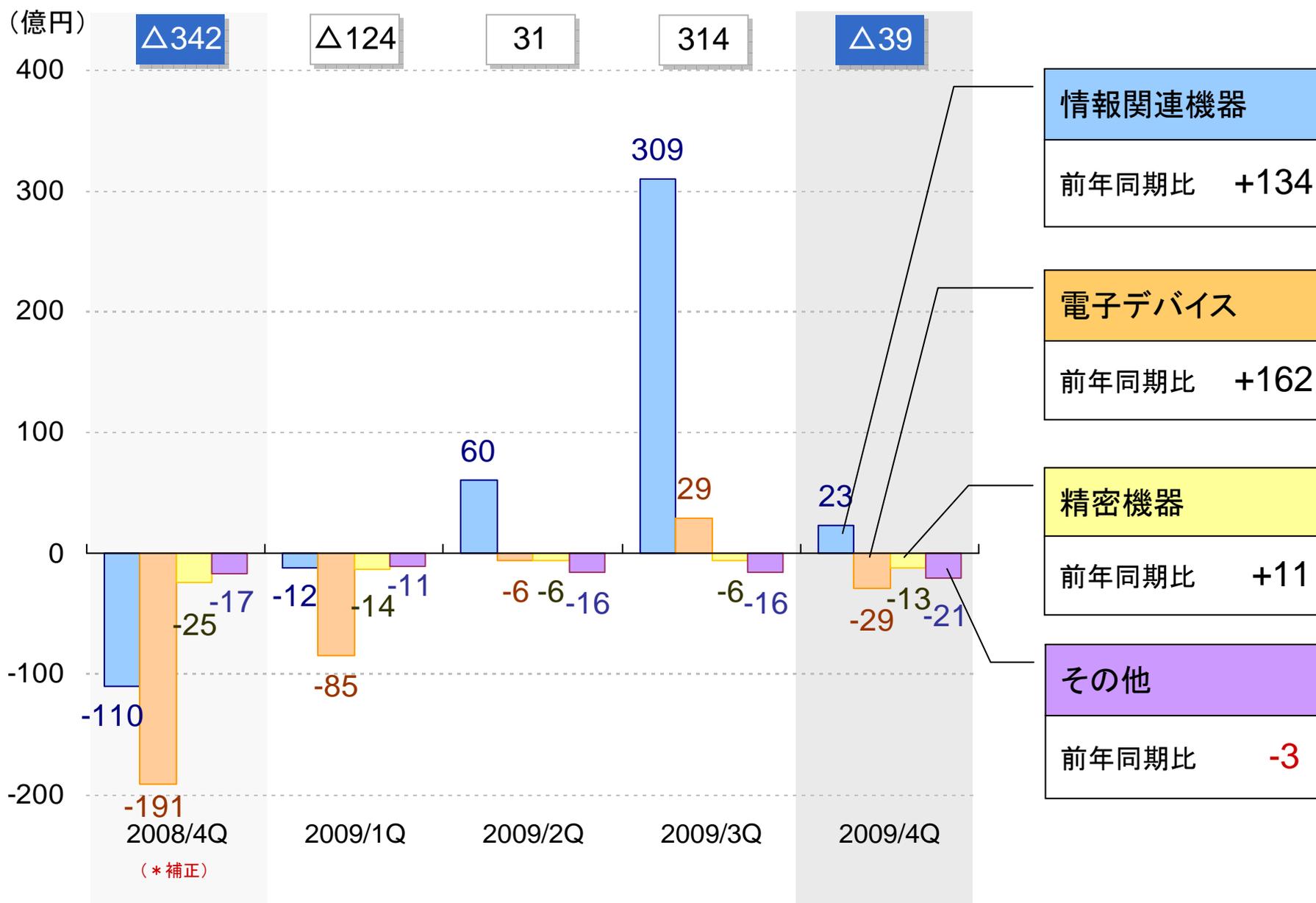
# 四半期売上高比較 ▶ 電子デバイスセグメント



# 四半期販売費及び一般管理費推移

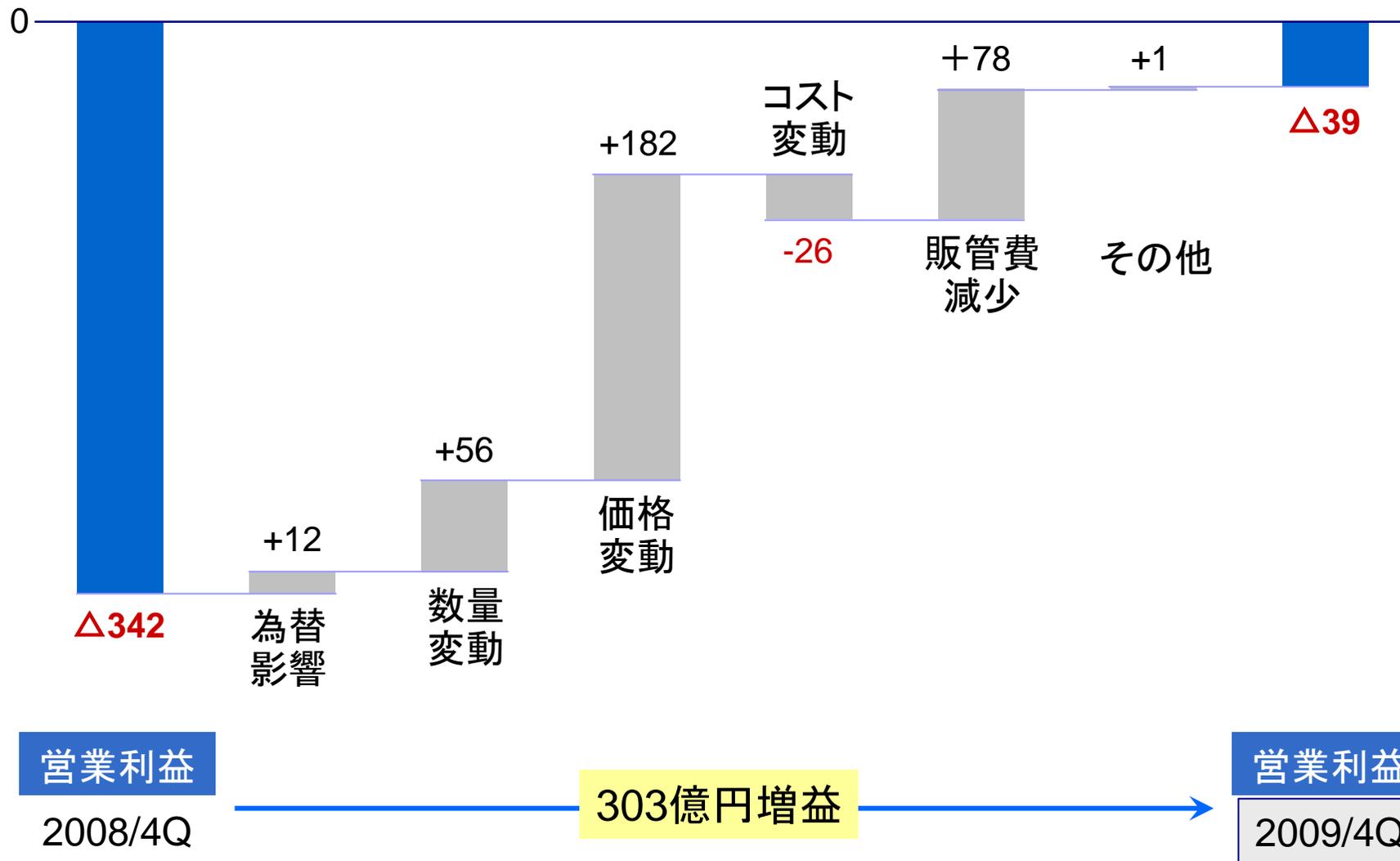


# 四半期営業利益推移 ▶ 事業セグメント別



# 営業利益増減要因分析

(億円)



1) 2009年度 決算

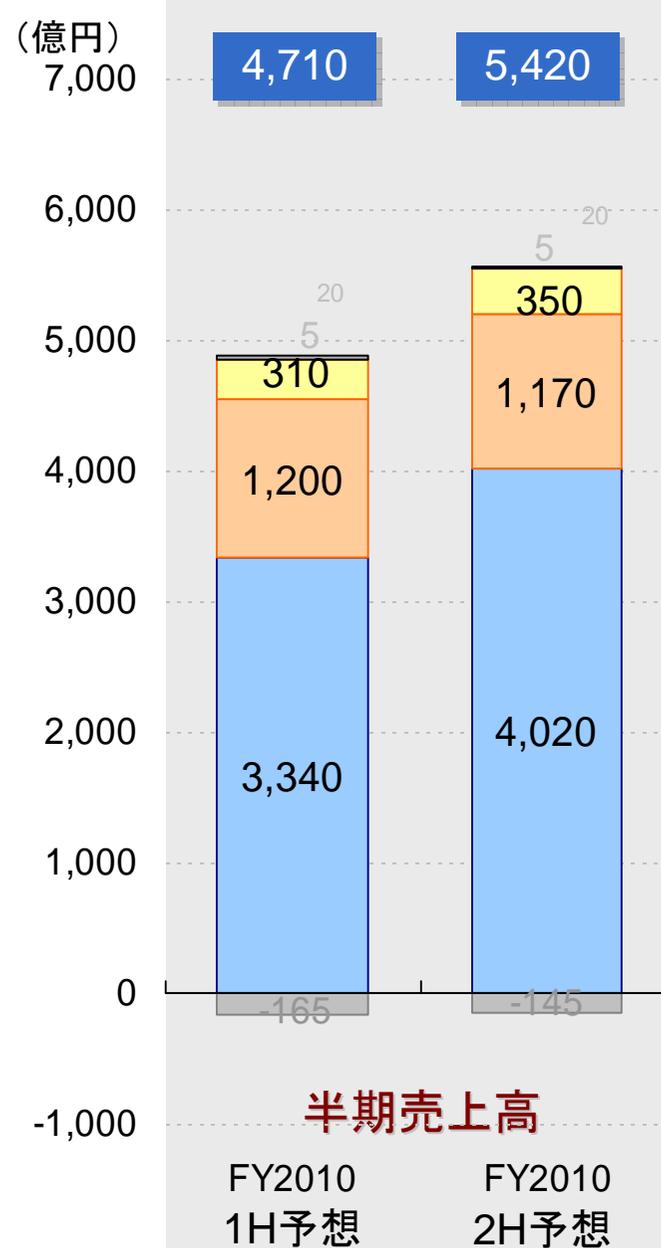
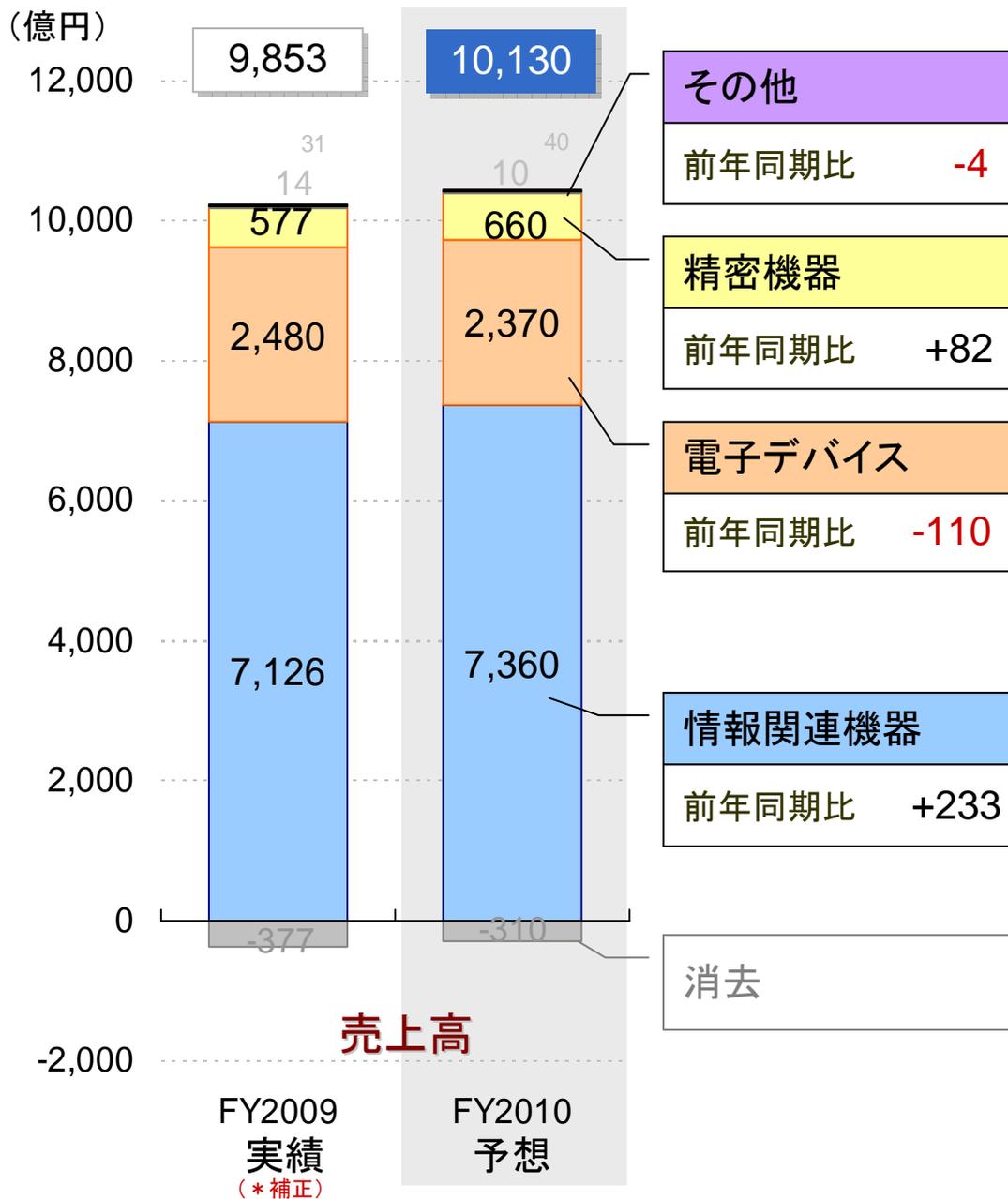
2) 2010年度 業績予想

\*ご注意  
「マネジメントアプローチ」にもとづき、開示セグメントを変更しました。  
変更内容につきましては、スライド2をご確認ください。

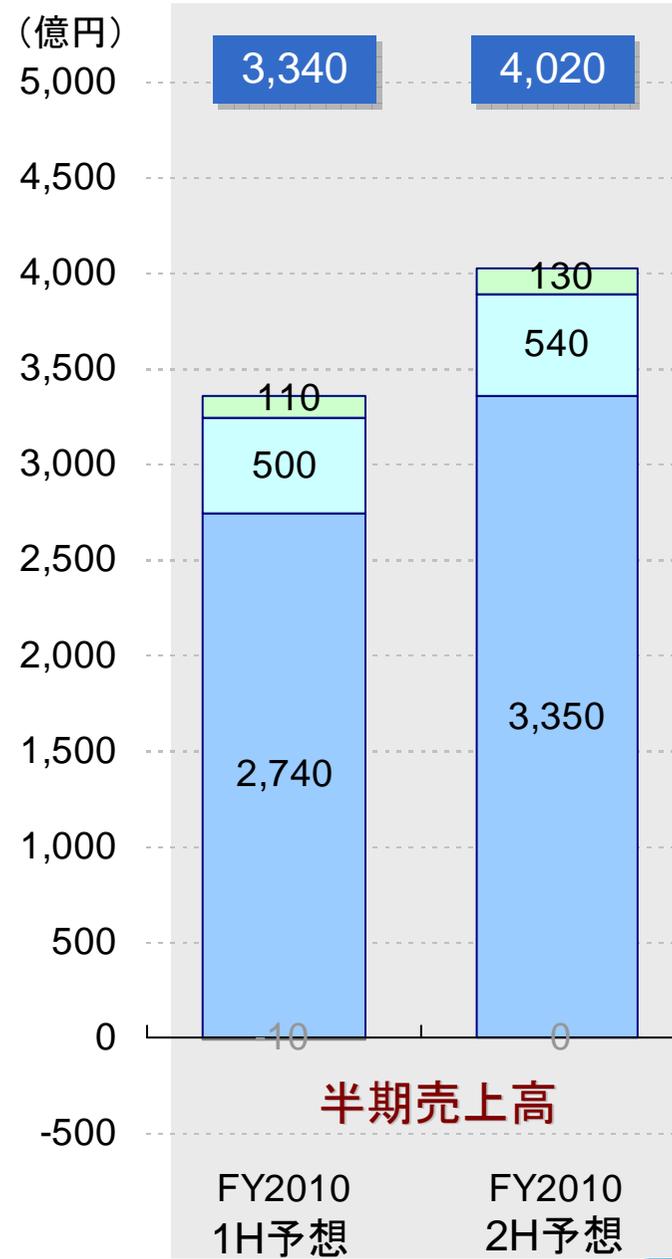
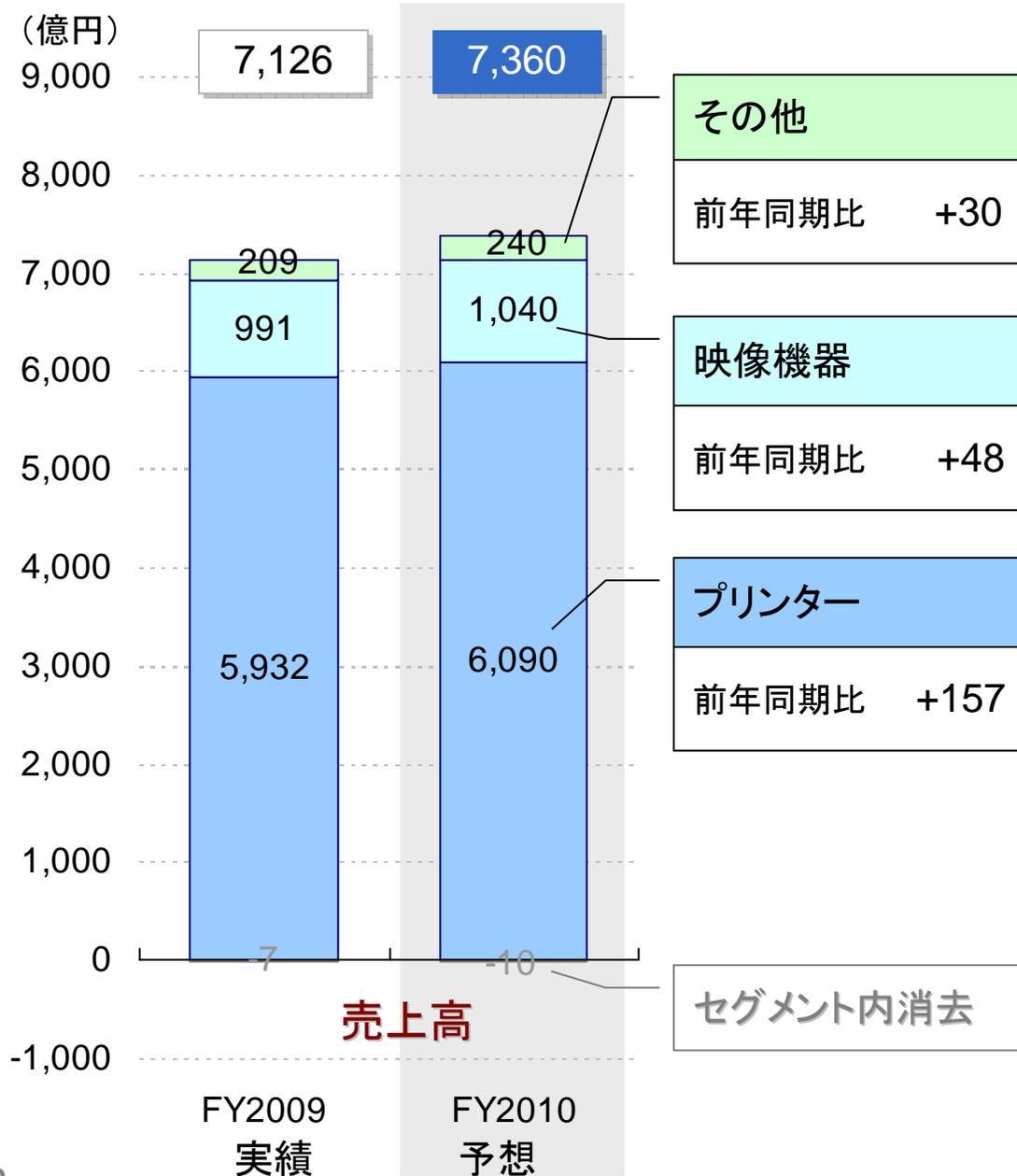
# 2010年度業績予想 ▶ 前期同期比

(億円)	2009年度		2010年度		増減	
	通算	%	通算	%	増減額	増減率
売上高	9,853	-	10,130	-	+276	+2.8%
営業利益	182	1.8%	270	2.7%	+87	+48.1%
経常利益	138	1.4%	240	2.4%	+101	+73.0%
税引前利益	△7	-0.1%	120	1.2%	+127	-
当期純利益	△197	-2.0%	0	-	+197	-
EPS	△99.34円		0.00円			
換算 レート	USD	92.85円	85.00円			
	EUR	131.15円	125.00円			

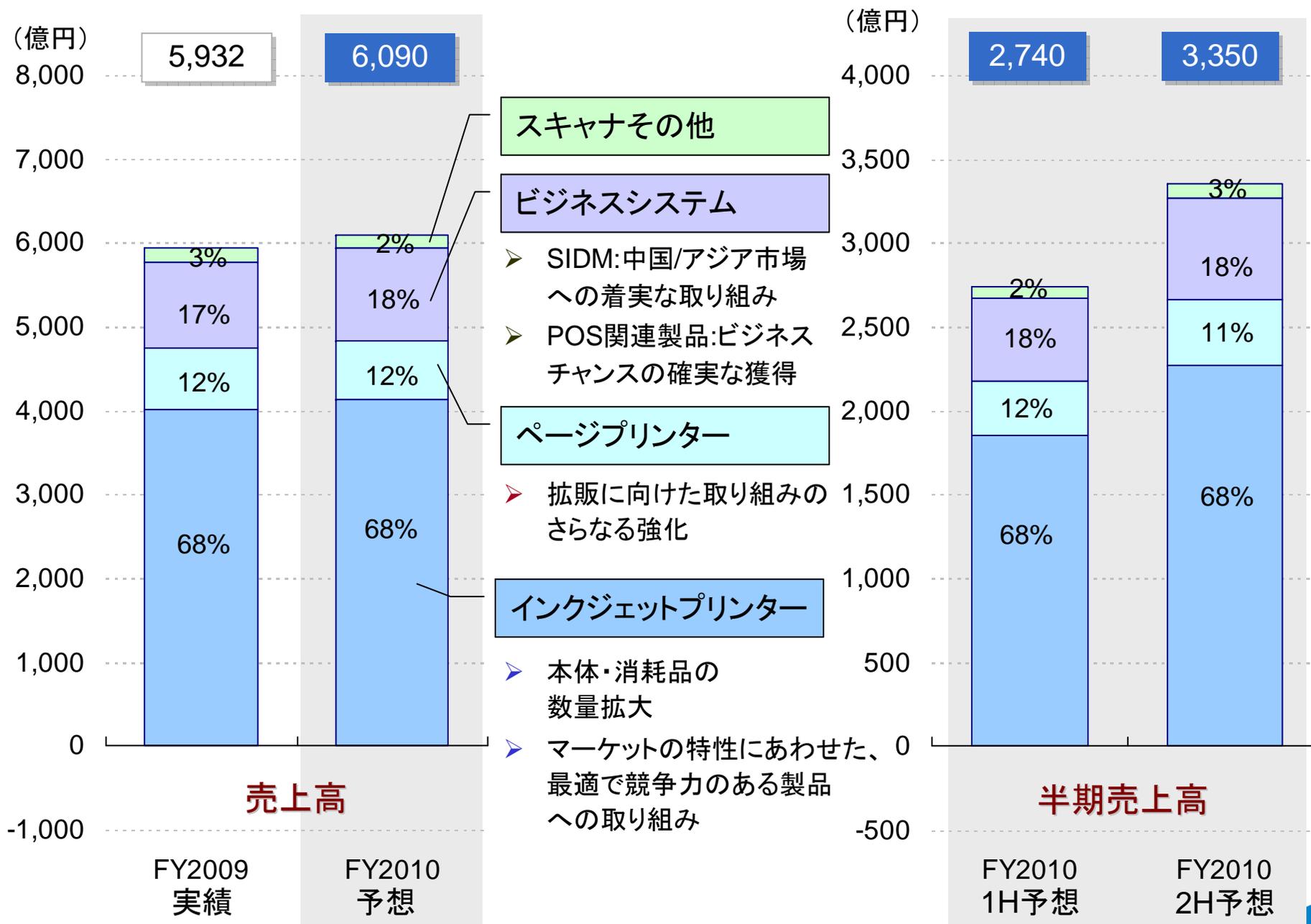
# 2010年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



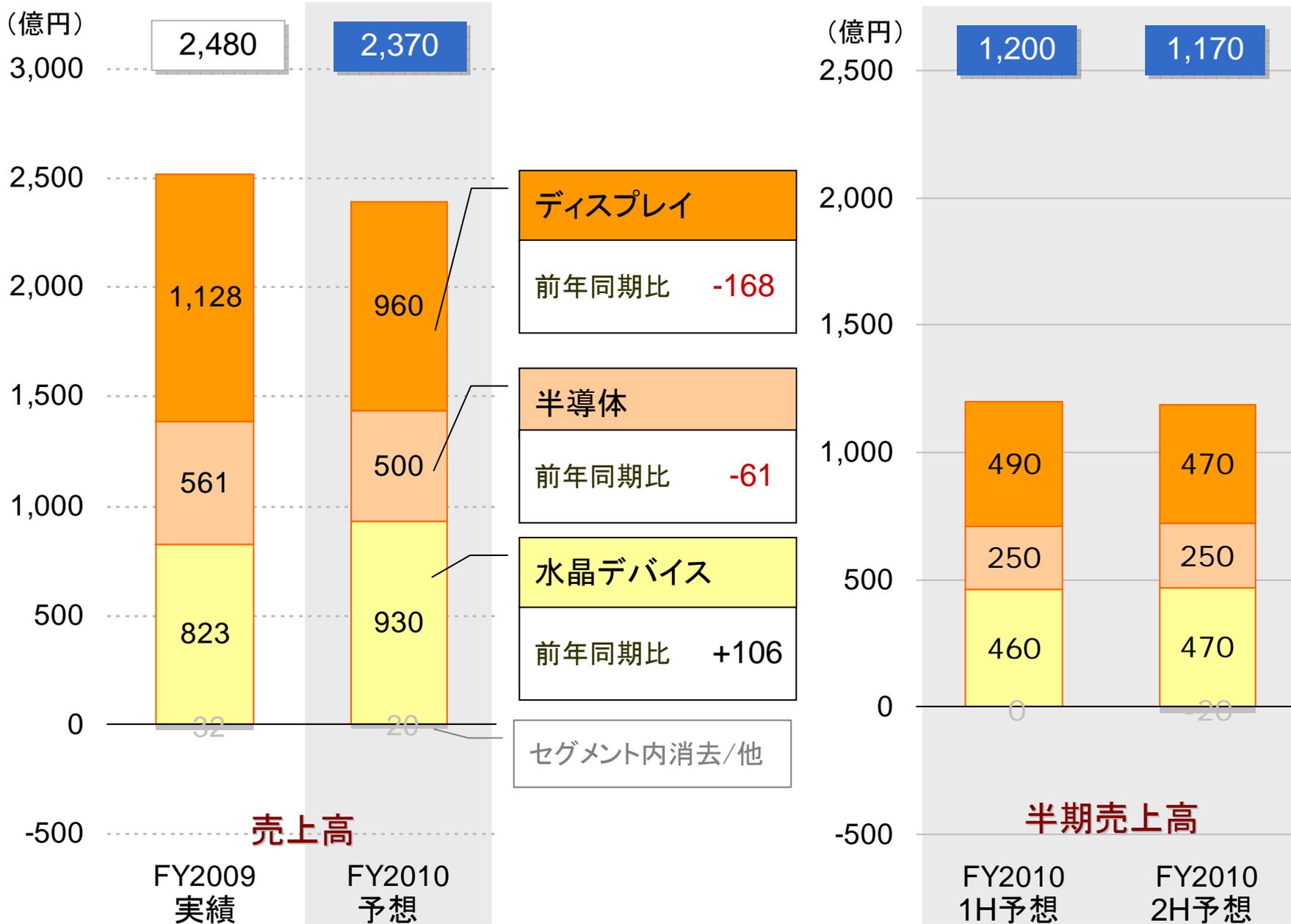
# 事業別売上高予想 ▶ 情報関連機器セグメント



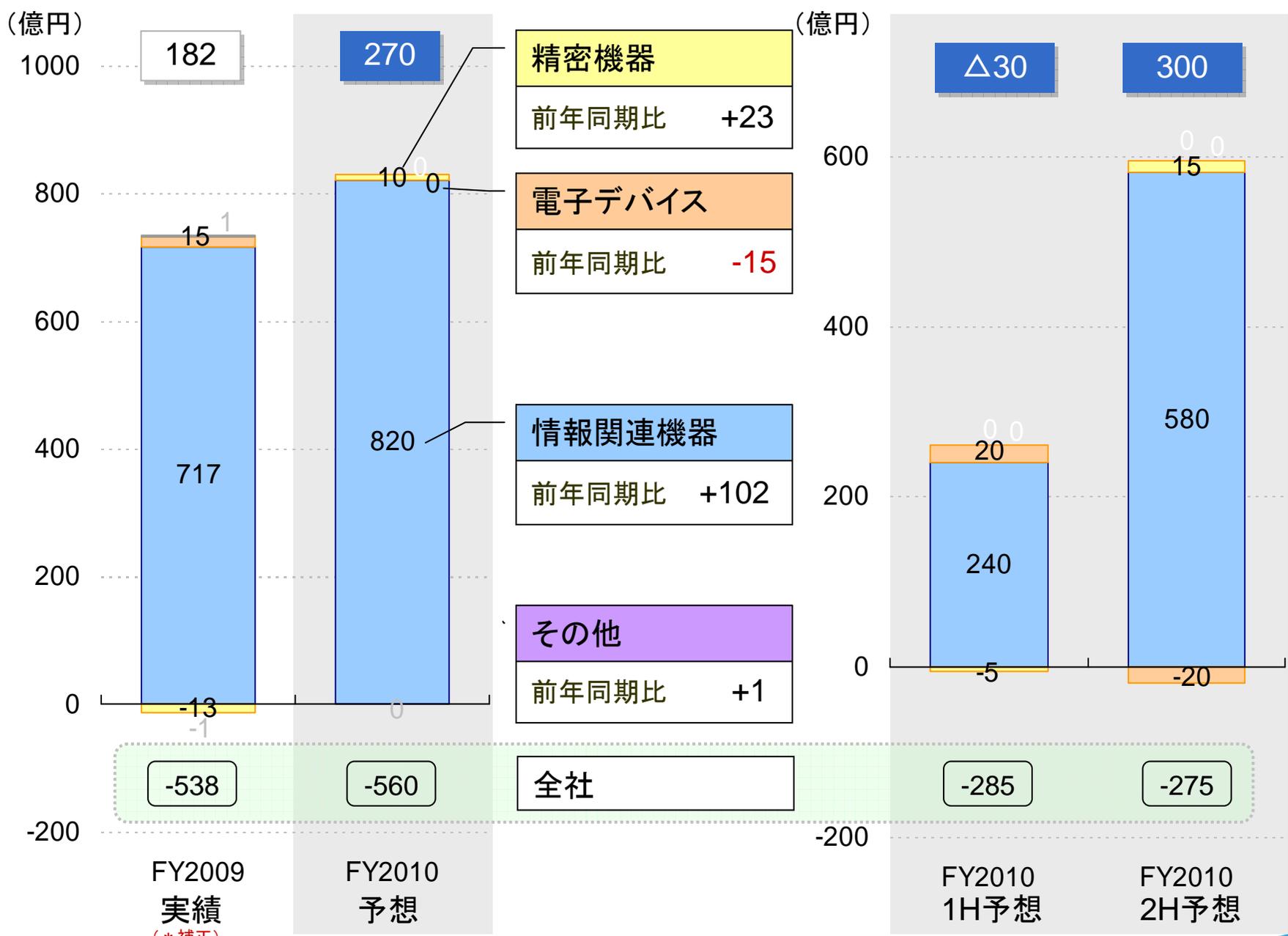
# 事業別売上高予想 ▶ プリンター事業



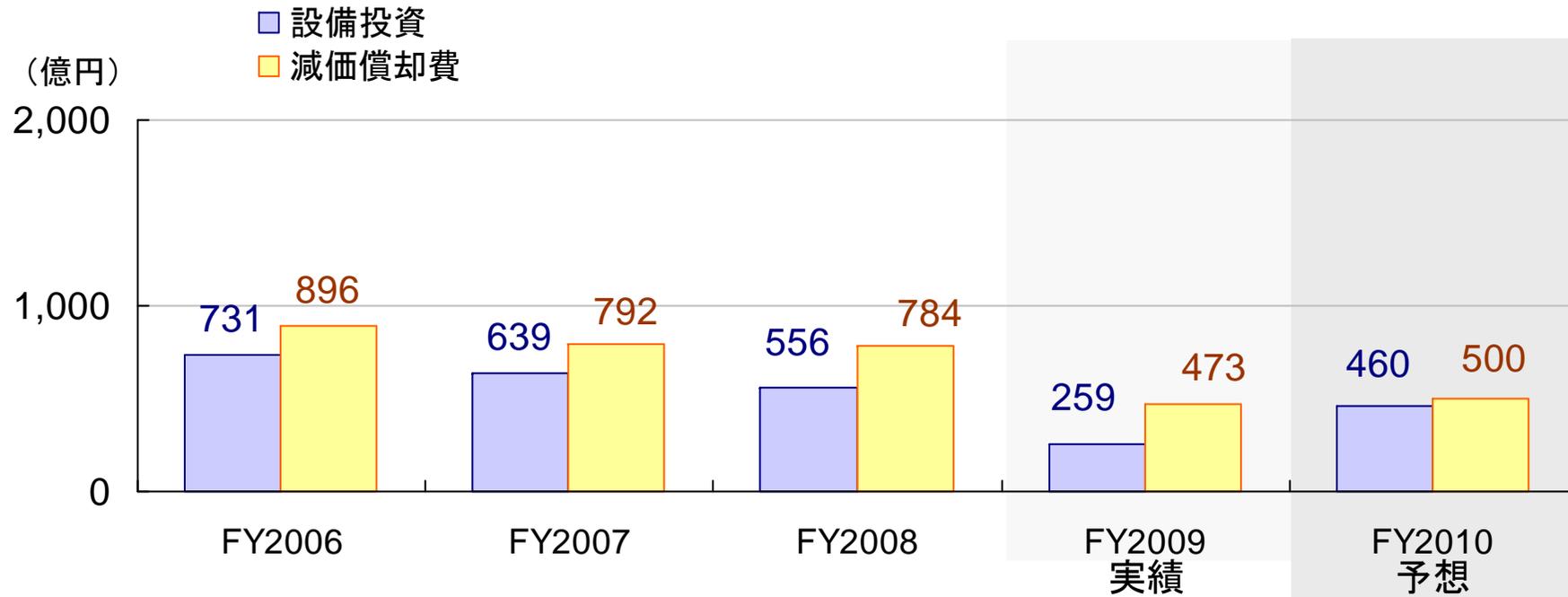
# 事業別売上高予想 ▶ 電子デバイスセグメント



# 2010年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別

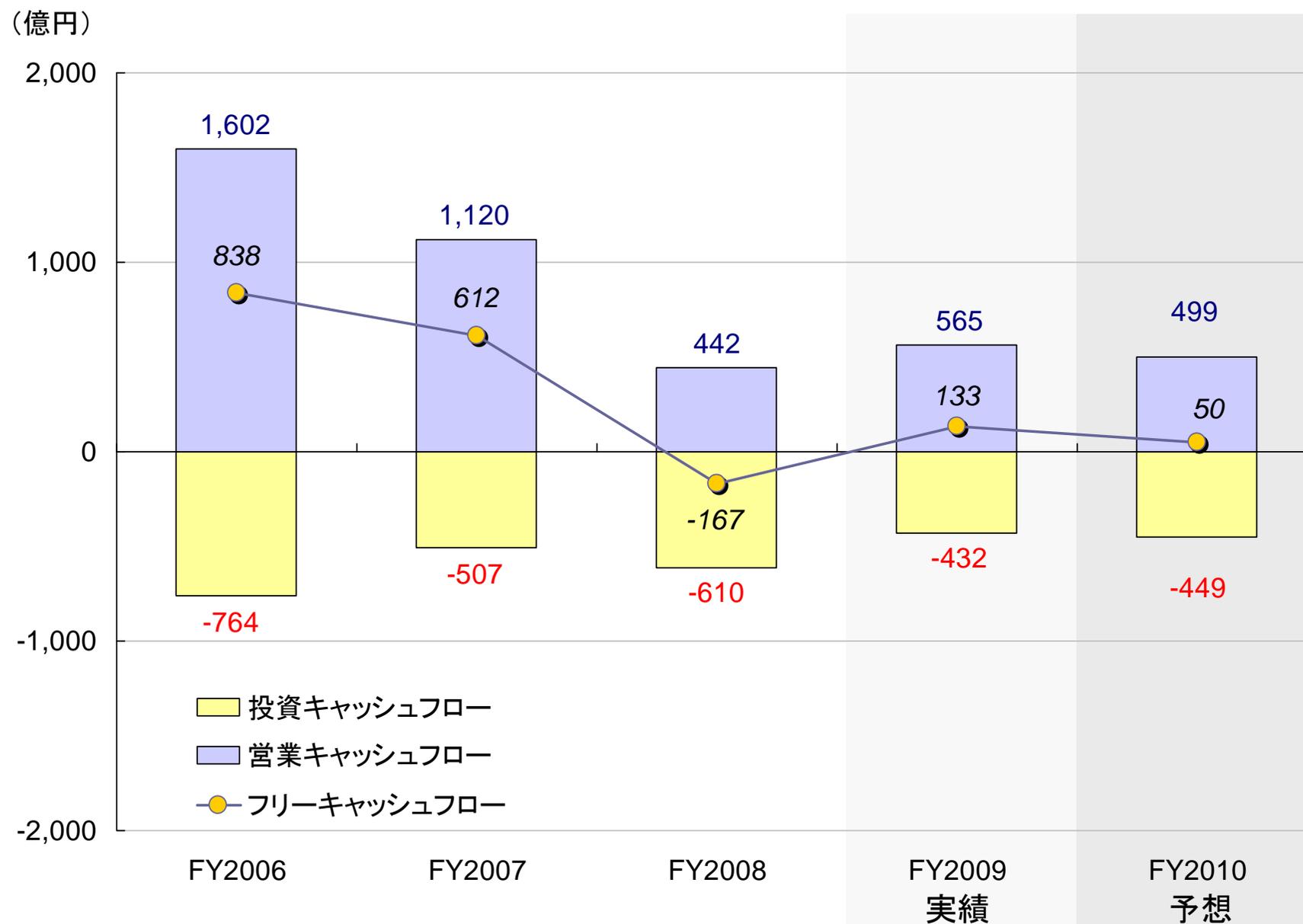


# 設備投資・減価償却費予想

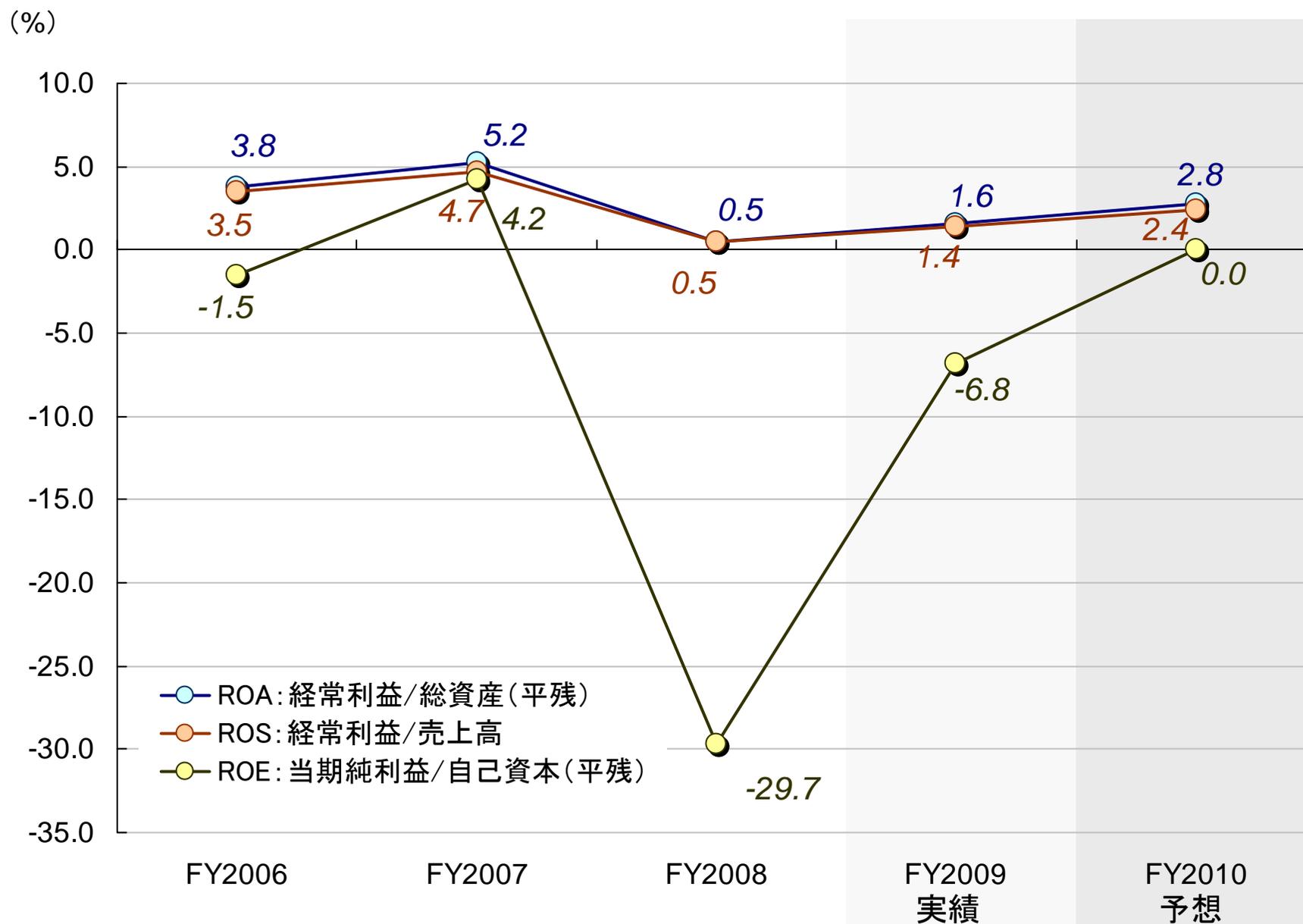


<セグメント別内訳>	FY2009実績		FY2010予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	125	244	210	260
電子デバイス	98	104	180	120
精密機器	18	39	30	40
全社・その他	16	85	40	80

# フリーキャッシュフロー予想



# 主な経営指標の推移



**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION